

広島神楽

定期公演 へようこそ

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。

- ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。
- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
 - (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
 - (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
 - (4) 撮影について
→ 写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※フラッシュの使用、三脚を使用**しての撮影は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
- 以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。

フラッシュを使用する撮影、三脚を使用するの撮影、撮影された画像の営利目的での使用および公衆の知覚公開は禁止させていただきます

スマホや携帯で撮った動画や写真をSNSにどんどんアップして
広島神楽の魅力を発信してください!!

8月7日のタイムスケジュール
出演:穴笠神楽団(三次市)
19:00～開演
19:05～第一幕『塵倫』
(およそ45分)
～幕間(休憩)～
20:05～第二幕『羅生門』
(およそ45分)
20:50～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

あながさかぐらだん 穴笠神楽団プロフィール ～三次市～

穴笠神楽団の発足は1984年、三次市穴笠町の地元青年団が町興しの一環として、神楽を始めた事がきっかけです。高宮町の梶矢神楽団に師事し、練習を重ね1987年に地元・天津神社に初めて神楽を奉納し、熱い声援を受け、翌1989年に穴笠青年団から穴笠神楽同好会に名称を変更し、週一回の練習を重ねながら、地元の敬老会などへの出演を続けてきました。

2001年に地元へのお礼として、休校となる穴笠分校での舞が新聞に報じられ、穴笠町外からの加入希望者が少しずつ増え、2004年に穴笠神楽団へと名称を変更しました。

将門の乱、明神山、戸隠山・阿久利姫など穴笠神楽団のオリジナル演目を加え、現在、団員18名で各地の秋祭り、各種イベントや共演大会などに出演させて頂いております。

第一幕『塵倫』 じんりん

第14代の帝、帯中津彦(仲哀)天皇の御代、日本征伐を企て異国より数万の軍勢が攻めて来ました。

その中に、身に翼あり黒雲に乗り、虚空を神通自在に飛び回る「塵倫」という大將軍がおり、国々を荒らし回り、多くの民や官軍を攻め滅ぼしました。

そこで天皇は、天照大神の御神徳と、身辺不思議なる弓矢の威徳をもって、従者高麻呂を従えて塵倫に立ち向かい、大激戦の末、見事討ち取ったと伝えられています。

大	太	鼓	—	神田	幸雄
小	太	鼓	—	渡邊	幸彦
手	打	鉦	—	藤永	大樹
	笛	—	藤永	直子	
帯中	津彦	天皇	—	川岡	真
高	麻	呂	—	川岡	愛
塵		倫	—	大鳥	哲也
	鬼		—	小山	孝司
	鬼		—	元國	亮

第二幕『羅生門』 らしょうもん

大江山の酒呑童子の手下茨木童子は、夜毎羅生門は戻り橋に現れ、災いをなし、人々を悩ませていました。

源頼光から勅命を受けた渡辺綱は、早速羅生門に向かい茨木童子の左の腕を切り落としますが、あと一步のところで大江山へ逃してしまいます。

この事を知った酒呑童子は、渡辺綱の乳母白妙に化け、言葉巧みに腕を取り返します。これに気付いた綱との激しい戦いになりますが、酒呑童子は虚空飛天の妖術を使い大江山へ逃げ帰ります。

羅生門は、源頼光が四天王と共に、酒呑童子を征伐する「大江山」の前段の物語です。

大	太	鼓	—	元國	亮
小	太	鼓	—	山根	修
手	打	鉦	—	藤永	大樹
	笛	—	藤永	直子	
渡	辺	綱	—	池上	龍之介
乳	母	白妙	—	香川	洗之郎
傘	売	善兵衛	—	渡邊	幸彦
酒	呑	童子	—	小山	孝司
茨	木	童子	—	川岡	愛希

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。
※助成/一般社団法人地域創造